

令和3年度「下保谷四丁目特別緑地保全地区 春の一般開放」イベント実施報告

このことについて、下記のとおり実施しましたので報告いたします。

記

- 1 **実施場所** 「下保谷四丁目特別緑地保全地区内（旧高橋家屋敷林）」
- 2 **目的** 平成30年度に策定した下保谷四丁目特別緑地保全地区（高橋家屋敷林）の保全活用方針に基づき、活用をとおして新しい価値を見いだすためのイベントとして、広く市民に特別緑地保全地区の魅力を体験してもらうとともに、保全活用することを目的に実施する。
- 3 **開催日時** 令和3年4月3日（土） 午前10時～午後3時まで
- 4 **事業内容**
 - ①特別緑地保全地区春の見学
 - ア) 正面入口（南側）～前庭（母屋含む）～東側入口を見学コースとする。
※イベント開催時間内に来場者に敷地内を自由に見学してもらう。
来場者：455人 母屋見学者：192人
 - イ) 屋敷林クイズラリー
※別紙「クイズラリー参照」 植生調査の結果から主に出題
 - ウ) 屋敷林展（ヤシキリン通信創刊号も配布）
 - 屋敷林の活用取組等のパネル展示
 - 高橋家屋敷林の写真展示
(高橋家屋敷林保存会の写真をスライドショーの形で編集し、動画として上映する。)
 - エ) 屋敷林見学ガイドツアー
定員： 各回1グループ約10名程度とし、2グループまで
1回目 午前11時～11時30分 **参加者：25人**
2回目 午後1時30分～2時 **参加者：23人**
 - オ) 竹細工・木工細工紹介コーナー
※日頃、屋敷林の保全のため活動しているボランティア団体の方々が、屋敷林の竹や木を使った木工細工を紹介
※作成した完成品を、子供たち中心に持ち帰ってもらう
 - カ) 野草園観察
野草園の野草見学
※野草園で撮影した野草等を展示し、春以外に見ることができる野草の紹介もしていく。

キ) 掛け軸アンケート

武蔵野大学の学生による「掛け軸アンケート」の実施。葉っぱの形をした付箋に、「市民の声」を記入してもらう。



5 実施状況

昨年12月に実施した一般開放イベント（紅葉観賞会）に引き続き、春の一般開放イベントを実施した。例年、観桜会として実施しているものであるが、今年は桜の開花が例年よりも早く、みどりに包まれた開放となった。また、秋の開催に引き続き新型コロナウイルス感染症の拡大が続く中での実施となり、感染症対策を万全にした中での開催となった。

天候は、晴天に恵まれ、暖かい中での開放となり、みどりに親しんでもらうのと同時に、緑化審議会の保全活用方針の取組みを紹介する「ヤシキリン通信 創刊号」をはじめ、保全と活用を一体的に考えた実証実験などの取組みを広く市民に周知することを目的とし、特別緑地保全地区（屋敷林）の魅力を伝えることができた。

また、植生調査の結果などを屋敷林クイズとして、参加者に配布したり、母屋内の見学も実施した。

当日は、高橋家屋敷林保存会、武蔵野大学の学生、保全活用計画策定等支援業者のランドブレイン（株）の協力のもと、今後の屋敷林の保全活用についてPRするとともに、来場者へのアンケートも実施し、特別緑地保全地区（屋敷林）に対する「市民の声」を聞かせていただく取組も同時に実施した。

なお、関係者各位の協力により、大勢の参加があるなか、無事イベントを終えることができた。

6 一般公開の様子

○竹細工紹介の様子



○パネル展示の様子



○野草園の説明の様子



○屋敷林クイズラリーの様子



○アンケートの様子



○来園者の散策の様子

